

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM

島原市立第四小学校

学校だより No.135

令和5年5月23日(火)

文責：校長 大槻浩二

心を一つに 燃えろ 杉谷パワー！

木曜日、金曜日と雨が続き、練習や会場設営に支障がありましたが、21日（日）当日は、子どもたちの願いが通じ快晴となりました。

4年ぶりの「第19回第四小学校・杉谷地区合同運動会」が開催され、杉谷地区町内会連絡協議会、悠友クラブ連合会、杉谷地区消防団、四小育友会から、たくさんの参加があり、歓声と笑顔あふれる運動会となりました。テーマのように学校・育友会・地域が心が一つになった運動会でした。

今年の第四小学校のテーマは「Smile & Challenge」です。運動会本番まで、Smile いっぱいの運動会となるように一人一人が自分のチャレンジ目標を決めて練習に取り組みました。本番では、練習の成果を十分発揮して、一人一人がまた大きく成長しました。



6年生活躍！

6年生にとって、運動会は、最高学年として最初の行事です。練習期間は短かったのですが、応援合戦は十分に見ごたえのあるものに仕上がりました。応援リーダーだけではなく、6年生の全ての子どもが役割と責任を持ち、団旗の作成や下級生の指導など、分担して取り組みました。これからも、学校のリーダーとして期待できる頑張りでした。

会場設営・片づけ、ご協力ありがとうございました！

保護者・地域・消防団のみな様には、前日のテント設営、当日の片づけなど、最後までご協力いただきありがとうございました。例年のことですが、学校のテントや机・椅子の片づけまでご協力いただき大変助かりました。疲れている子どもたちの熱中症対策にもなりました。

参加者全ての方々が学校をサポートしてくださる姿は、杉谷地区のこれまで築きあげられてきたよき伝統であり、子どもたちが目ざす姿です。今年は「ふるさとのひと・もの・こと」の良さに目を向ける教育を行っています。子どもたちに地域の方々の想いを伝えました。

言葉を文字にする大切さ(可視化)

運動会に向けて一人一人のチャレンジ目標を、様々な形で可視化しました。単に言葉を発するだけでなく、目に見えて自分がいっても確認できるように、カードに書いたり板書したりするなど、各学級で工夫が見えました。今年は、行事など何かをやる時には「Challenge 目標」を決めさせ、「見える化」「可視化」するようにしています。担任の想いも併せて。この効果に期待大です。



春の種を下さずんば、
秋の実いかに穫ん。

仏法を学ぶため、苦勞して唐(中国)に渡った空海の言葉。

春に種を蒔かなければ、秋に実を穫ることはできないと努力の大切さを説いている。

After コロナ。四年ぶりの合同運動会の開催にあたっては、たくさんの方々、それぞれの立場での苦悩があったに違いない。

5類になったとはいえ、感染はないのか、選手は集まるのか。3年間実施していないことで運営方法はどのように進めていくのか。半日開催で十分に盛り上がるのか。など、たくさん懸念材料があった。

しかし、コロナ禍で様々な行事が中止される中、寂しさを感じていた方々もたくさんいたに違いない。

合同開催の最大の目標は、知恵を出し合いながら、「なんとかやってみる」ことだ。

運動会終了後、たくさん保護者・地域の方々から「やってよかった」「元気をもらいました」の声をいただいた。

この行事の新たなスタートが、次につながる種を蒔いた。この種を大切に育て、大きな実となるようにしたい。子どもたちと地域との交流行事も再開していきたい。

芝生のグラウンドに広がった歓声と笑顔が、学校を飛び出し、杉谷地区に広がっていきけるように。



※ 運動会での子どもたちの Smile や真剣な表情をホームページにアップしています。写真は、スマートフォン等へダウンロードできますのでご活用ください。

運動会の動画も近々掲載予定です。



第四小学校ホームページ

【URL】 <https://4sho.shimabara-edu.com/>

※ ホームページは、1日1回確認する習慣を！



←QR コードで
ジャンプ！